

春

新年のごあいさつ



那珂川町長
川崎 和郎

明けましておめでとうござ
います。皆さまおそろいで新
たな抱負を胸に清々しい新年
をお迎えのことと心からお喜
び申し上げます。

さて、昨年の国内のできご
とを振り返ってみますと、
ミートホープや赤福、船場吉
兆などの食品偽装問題が次々
と表面化し、消費者を欺くと
同時に食の安全を脅かす大問
題に発展しました。また、ア
メリカのサブプライムローン
(低所得者層に向けた住宅
ローン)の焦げ付きが金融機
関を直撃し、中小企業への貸
し渋りへとつながり、倒産が
相次ぎました。景気回復とは
名ばかりの厳しい現実が露呈
しました。

身近な話題では、那須信用
組合馬頭支店に銀行強盗が押
し入るといった世相を反映す
るような事件が起こり、新聞

をにぎわせました。改めて、
安全・安心のまちづくりの重
要性を考えさせられたところ
です。

一方、国及び地方では、大
幅な税収不足による財源不足
が拡大し、両者を合わせた借
入金の総額は約767兆円に
のぼり、まさに非常事態とも
言える状況となっております。
町財政につきましても、三位
一体の改革による地方交付税
や補助金の削減など地方自治
体を取り巻く環境は一段と厳
しさを増しています。

しかしながら、このような厳
しい財政状況の中でも、少子
高齢化に向けた福祉施策、社
会基盤や教育施設の整備等積
極的に展開する必要があります。
そして、那珂川町総合振
興計画「豊かな自然と文化に
はぐくまれ やさしさと活力
に満ちたまちづくり」をテー

マに「安全・快適なユニバー
サルデザインのまちづくり」
「笑顔あふれる元気で心あた
たかなまちづくり」「人を育
て未来を拓くまちづくり」「人
がにぎわい活力あるまちづく
り」「豊かな自然と共生する
まちづくり」「改革への道」
の6つを基本目標に諸施策を
積極的に進めてまいります。

今年は特に、平成21年4月
のケーブルテレビ開局に向け
た高度化事業の推進、地元住
民の意見に沿った学校統廃合
計画の実施、保育園や幼稚園
の統廃合計画の推進、観光と
連携した農林水産業や商工業
の振興などの諸施策に力を注
いでまいります。

現在那珂川町は、実質公債
比率から見ると全国平均を下
回っておりますが、各種基金
を取り崩しながら事業を推進
している状況にあり、今こそ
住民と行政が一体となった協
働のまちづくりが求められて
います。お金はかけなくても、
知恵と工夫で乗り切っていこ
うではありませんか。幸い当
町は、自然環境に恵まれ、地
域のボランティア、盛谷地区
の「なごみの里」や富山地区
の「ホテルの里づくり」など、

特色ある取り組みを行って
います。また、昨年末には「第
九を歌う会」が旧2町の融和
を図ろうと演奏会を開催し、
好評を博しました。これらボ
ランティアに対する支援や交
流人口の増加に努めます。

また、県営産業廃棄物処分
場建設については、「環境の
共生するまちづくり」への地
域振興策について、県や関係
機関と協議のうえ、具体的に
示しながら早期の完成を迎え
るよう努力してまいります。

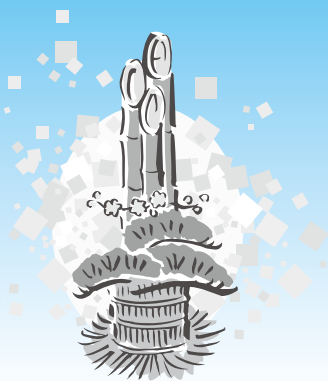
これからも町民のご意見、
ご要望を真摯に受け止め、町
民参加のまちづくりを推進し
てまいりますので、なお一層
のご支援とご協力をお願い申
し上げます。

この1年が皆さまにとって
実り多いすばらしい年になり
ますよう心からお祈り申し上
げ、新年のごあいさつといた
します。



2008年 平成20年

迎



那珂川町議会議長
杉本 益三

新年あけましておめでとう
ございます。町民の皆さまに
は、心新たにご健勝で新春を
お迎えのことと心からお喜び
を申し上げます。

さて、昨年の我が国を振り
返って見ますと、5,000万
件にも及ぶ消えた国民年金の
問題。農林水産省や防衛省の
不祥事による政治とカネの問
題。そのほか、全国的な食品
加工業の偽装が相次いで発覚
し、また、銃を使った事件事
故、ガソリンなどの値上げな
ど閉塞感の漂う一年であつた
かと思われます。

そういつた中で、那珂川町
においては、昨年の10月に、
町民憲章をはじめ、町のシン
ボル、町の花「カタクリ」、
町の木「松」、町の鳥「ウグ
イス」が制定され、町民の一
体化が着実に進んだという印
象を強く受けています。12月

には町第九を歌う会による第
九の演奏会がありました。第
九の演奏会がみ事に発揮され
て、その演奏のすばらしさは
もとより、旧二町の枠を超え
た町民の融合が進められた催
しでありました。出演者のご
努力、関係者のお骨折りに敬
意と感謝を申し上げる次第で
す。

依然として厳しい財政状況
におかれている那珂川町では
ありますが、一昨年に策定さ
れました総合振
興計画や、行財
政改革推進計画
に沿って、事業
が着実に進んで
きております。

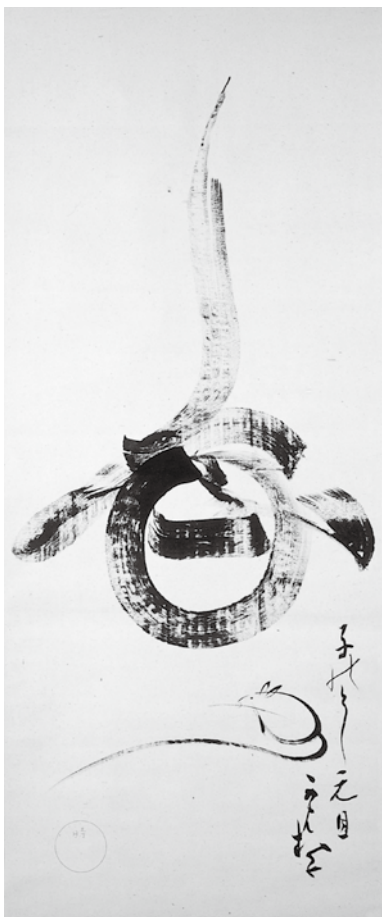
本年は、いよいよ
少子化の進行に伴
う小・中学校の統
廃合が行われま
す。また、町民の

一体感の醸成と高度情報基盤
の確立のためのケーブルテレ
ビ高度化事業が最終年度とな
り、小川地区の工事も着手さ
れます。県営最終処分場関連
の地域振興等々大きな課題も
ある中で、振興計画の推進に
あたっては、限られた財源を
活かし、経費の削減を図り、
確実に事業が進められること
に期待をしております。

近年の地方議会は、議会基
本条例の制定などにみられる
ように、議会の動きが住民に
理解されるようにしていくた
め、「開かれた議会」を目指
す動きが顕著であります。こ
の点では、当町において現在
進められておりますケーブル
テレビの高度化事業が完了
し、小川地区にも議会の中継
が行われますと、議会にとり

ましても、大きな前進になり
ます。

現在、町議会では、昨年設
置した議会改革調査特別委員
会において、議員の定数や報
酬、議会の活性化などについ
て調査しておりますが、本年
はそのとりまとめの年であり
ます。これらの結果を受けて、
改革の取り組みを具現化し、
議会をさらに活力あるものに
していかねければならない
と、強く感じているところで
あります。皆さまの特段のご
理解とご支援をお願い申し上げ
ます。最後に、町民の皆さま
まのご健康とご多幸、併せて
ますますのご活躍をご祈念申
し上げ、新年のごあいさつと
いたします。



川村清雄「宝珠図」那珂川町馬頭広重美術館蔵